ハイネス雅
【岐阜県】神戸町

かに乙女
【岐阜県】可児市

さかきの輝
【長野県】坂城町

スカーレットイワミザワ
【北海道】岩見沢市

第２章「バラを通して深まる絆」

第 23 回ばら制定都市会議（ばらサミット）

全国各地から本市を含む９自治体が参加し、加盟団体相互で交流や情報交換が行われたほか、バラを通じて豊かな地域創造に邁進することを宣言しました。

▲中野市の新品種のバラ
名称は「なかの小町」に決定

平成26年6月12日から13日にかけて第23回ばら制定都市会議（通称ばらサミット）が開催されました。

ばらサミットは、バラを市町村の花として制定している地方公共団体など22の自治体で組織され、バラをまちづくりに生かすための情報交換や技術交流を目的に、毎年全国各地で開催しています。

本市での開催は、平成16年以来2度目であり、当日は県内外から本市を含む9自治体が参加し、本会議や栽培技術の意見交換会などを行いました。また、ばらサミットに合わせ、駐日ブルガリア共和国特命全権大使とカルロヴォ市バラの女王をお迎えしたほか、バラ育種家の河合伸志さんが本市に寄贈された新品種のバラの発表会など各種イベントが行われました。

本会議では「加盟自治体はバラを通じて豊かな地域創造のため、永年にわたっての交流を礎に、多様な交流と連携を促進する」といった中野宣言を採択しました。

市では今後も、ばらサミット加盟団体との交流・連携を図りながら市民の皆さんと協力し、花と緑にあふれる潤いのあるまちづくりに取り組んでいきます。

1）参加自治体がバラをどのようにまちづくりに生かしているかを発表。（写真：島田市長）2）バラ育種家・河合伸志さんの記念講演会。3）本市のほか坂城町と信越自然郷がブースを出展しPR活動をしました。4）真剣な眼差しで発表を聞く参加者の皆さん。5）駐日ブルガリア共和国特命全権大使ゲオルギ・ヴァシレフさん（左）とカルロヴォ市バラの女王デシスラヴァ・ボゴイスカさん。（右）6）各自治体の現況や課題を話しあった栽培技術意見交換会。

≪第23回ばらサミット参加自治体と各自治体のバラを紹介≫

かすやの里
【福岡県】粕屋町

ウルヴァリン：FUKUYAMA
【広島県】福山市

にしお小町
【愛知県】西尾市

ミスシマダ
【静岡県】島田市

11

9

7

8

12

13

7、8）新品種のバラの名称発表会と表彰者の皆さん。9）本市出身のなかのバラ大使、西丸優子さんも一緒に植樹を行いました。10）ばらサミット開催を記念し、参加自治体など関係者で行った記念植樹。11、12、13）中野立志館の高校生が吹奏楽のほか、ボランティア活動を通して学んだことなどを発表した「もうひとつのばらサミット」。

10